

(19)日本国特許庁(JP)

(12)公開特許公報 (A)

(11)特許出願公開番号

特開2001-250002

(P2001-250002A)

(43)公開日 平成13年9月14日(2001.9.14)

(51)Int. Cl.⁷

G06F 17/60

識別記号

126

ZEC

FI

G06F 17/60

126 U 5B049

ZEC

テ-マ-ド(参考)

審査請求

有

請求項の数7

OL

(全10頁)

(21)出願番号 特願2000-61009(P2000-61009)

(22)出願日 平成12年3月6日(2000.3.6)

(71)出願人 500104314

ニッセイ情報テクノロジー株式会社

東京都文京区本駒込二丁目28番6号

(72)発明者 加藤 ▲隆▼彦

大阪府豊中市南桜塚1-28-10

(74)代理人 100101845

弁理士 佐藤 明子 (外1名)

Fターム(参考) 5B049 BB41 CC32 CC33 DD01 EE02

EE05 FF03 FF04 GG03 GG04

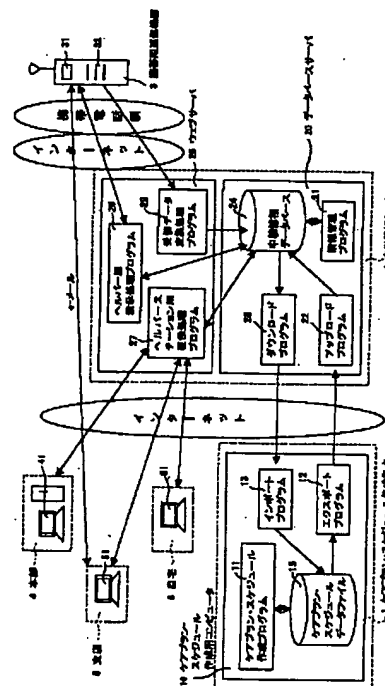
GG06 GG07

(54)【発明の名称】介護サービス提供業務支援システム

(57)【要約】

【課題】 ホームヘルパーの勤務の効率化と作業負荷の削減を図ると共に、介護サービス事業者のホームヘルパーに対する訪問スケジュール配布・指示や勤怠管理・介護実績管理の効率化を図る。

【解決手段】 介護サービス提供業務支援システムを、ケアプラン・スケジュール作成拠点1に設けられたケアプラン・スケジュール作成用コンピュータ10と、ケアプラン・スケジュール作成用コンピュータ10と相互にスケジュールデータ及び介護実績データを含むデータの送受信可能な中継情報データベース24を備えた中継情報センタ2と、中継情報センタ2にアクセスして中継情報データベース24に蓄積されたスケジュールデータを含むデータを表示させ介護実績データを該中継情報センタ2に送信可能な携帯用通信機器3とで構成する。



【特許請求の範囲】

【請求項1】 ケアプラン・スケジュール作成拠点に設けられたケアプラン・スケジュール作成用コンピュータと、該ケアプラン・スケジュール作成用コンピュータと相互にスケジュールデータ及び介護実績データを含むデータの送受信可能な中継情報データベースを備えた中継情報センタと、該中継情報センタにアクセスして該中継情報データベースに蓄積されたスケジュールデータを含むデータを表示させ介護実績データを該中継情報センタに送信可能な携帯用通信機器とで構成する、介護サービス提供業務支援システム。

【請求項2】 前記ケアプラン・スケジュール作成用コンピュータと前記中継情報センタとはインターネットを介して通信し、前記携帯用通信機器と前記中継情報センタとは携帯電話網及びインターネットを介して通信する、請求項1に記載の介護サービス提供業務支援システム。

【請求項3】 前記中継情報センタは前記中継情報データベースに蓄積されたデータをウェブ画面で表示する表示手段を備え、ブラウザを装備したコンピュータがインターネットを介して前記中継情報データベースに蓄積されたデータを表示させることができる、請求項2に記載の介護サービス提供業務支援システム。

【請求項4】 前記スケジュールデータは、担当ホームヘルパー名と日付と時刻と担当介護利用者名と介護サービスの内容とを含む、請求項1に記載の介護サービス提供業務支援システム。

【請求項5】 前記介護実績データは、少なくとも前記スケジュールデータに対応した介護利用者毎の介護開始時刻と介護終了時刻とを含む、請求項1に記載の介護サービス提供業務支援システム。

【請求項6】 前記中継情報データベースは、少なくともホームヘルパーマスタファイルと、介護利用者マスタファイルと介護スケジュールデータファイルと介護実績データファイルとを含む、請求項1に記載の介護サービス提供業務支援システム。

【請求項7】 前記ケアプラン・スケジュール作成用コンピュータは、毎日所定時刻にスケジュールデータを前記中継情報センタにアップロードし、前記中継情報センタは前記ケアプラン・スケジュール作成用コンピュータに定期的に介護実績データをダウンロードする、請求項1に記載の介護サービス提供業務支援システム。

【請求項8】 前記中継情報センタは前記ケアプラン・スケジュール作成拠点以外に設置されたコンピュータに通信回線を介して給与計算あるいは介護報酬請求用の月次介護実績情報をダウンロードする、請求項1に記載の介護サービス提供業務支援システム。

【発明の詳細な説明】

【0001】

【発明の属する技術分野】本発明は、在宅介護サービス

利用者宅へ在宅サービスを提供するためにホームヘルパーを派遣する介護サービス事業に関し、特に介護サービス事業者と派遣されるホームヘルパー双方の業務の負担を削減し、円滑な業務活動を促進するための、インターネットを活用した介護サービス提供業務支援システムに関する。

【0002】

【従来の技術】平成12年4月より介護保険制度が開始される。この制度により、要介護者は在宅サービスあるいは施設サービスを受けることができる。在宅サービスには、訪問介護（ホームヘルプサービス）、訪問入浴介護、訪問看護、訪問リハビリテーションなどが含まれる。従来、このような在宅サービスは自治体直営によって実施されてきたが、平成12年4月からは一定の基準を満たし市町村が指定・認定を行えば、民間業者や福祉団体など種別を問わず在宅サービスを行うことができるようになる。以下、このような在宅サービスを行う事業者を介護サービス事業者という。

【0003】要介護者が在宅サービスを受けるには、要介護認定の判定を受け、ランクに応じた限度額内でサービスを選び利用することができる。通常はケアマネージャと相談して介護サービスの計画表、すなわちケアプランを策定する。介護サービス事業者は介護サービスを希望する要介護者のケアプランに従って派遣するホームヘルパーなどの訪問スケジュールを作成する。

【0004】ここで、ホームヘルプサービスによって提供されるサービスは、日常生活の介護や家事援助などのサービスであり、その具体的内容は、食事、排泄、衣類の着脱、入浴、身体の清拭、洗髪、通院などの介助、調理、衣類の洗濯、掃除、整理整頓、生活必需品の買物、必要機関との連絡、介護に関する相談や助言など多岐にわたる。また、通常のホームヘルプサービスは、2～3時間滞在して日常生活の介護や家事援助を行うが（滞在型ホームヘルプサービス）、あらかじめ決まっているケア、例えばおむつ替えをするために時間帯に合わせて30分程度訪問するといういわばスポット型の巡回型ホームヘルプサービスも存在する。

【0005】一方介護サービス事業者から派遣されるホームヘルパーは、必ずしもフルタイム勤務の正規職員だけでなく、パートタイム的に働く者、委託により業務を請け負う者など様々な勤務形態があり、ホームヘルパーそれぞれの能力も様々である。

【0006】従って、介護サービス事業者が各人様々の要介護者のケアプランに従って、適切な時間帯に最適なホームヘルパーを派遣して最適なサービスを提供できるように訪問スケジュールを組むのは容易ではない。この問題を解決するために、派遣されるホームヘルパーが所属しホームヘルパーを管理する介護サービス事業者のホームヘルパーステーションにコンピュータを設置し、要介護者のケアプランのメニューや各ホームヘルパーのデ

ータを入力することにより、ホームヘルパーの指定や訪問・巡回スケジュールを作成し、各ホームヘルパーに対する予定表を出力できるホームヘルパーステーション用支援ソフトウェアが提供されつつある。

【0007】このようなホームヘルパーステーション用支援ソフトウェアによれば、ホームヘルパーステーション側の予定表作成に要する負担は軽減できる。しかしながら、ホームヘルパーステーションが各ホームヘルパーに対して予定表を配布して在宅介護の内容を指示するには、あらかじめ各ホームヘルパーに予定表を郵送するか、あるいは直接ホームヘルパーに予定表を手渡しする必要がある。郵送による場合は、あまり早めに送ってしまうと、直前になってスケジュールが変更されるなどのおそれがある。また、ホームヘルパーは、予定表に従って行った訪問介護についての実績をホームヘルパーステーションに報告する必要があり、ホームヘルパーステーションは、派遣された各ホームヘルパーがスケジュール通りにサービスを実施したかどうかを管理しなければならない。

【0008】従って、現状では予定表作成についてはある程度省力化はできたとしても、ホームヘルパーは訪問介護を開始する前にまずホームヘルパーステーションに立ち寄って予定表を受け取り当日のスケジュールを確認し、ホームヘルパーステーションを出発後はスケジュールに従って訪問介護をこなしながら適宜ホームヘルパーステーションに電話連絡などを行い、予定表の訪問介護を全て終了した後ホームヘルパーステーションに戻り、介護サービス実施実績の報告書を作成していることが多い。このため、特に自宅からホームヘルパーステーションまでが遠いホームヘルパーにとっては訪問介護実施前後のホームヘルパーステーションへの立ち寄りが負担となる。また、長時間にわたるあるいは巡回型の訪問介護を終えての介護サービス実施実績報告書の作成は、報告事項も多くホームヘルパーには負担となる。

【0009】一方、ホームヘルパーが介護サービス実施のためにホームヘルパーステーションを出発後に、ホームヘルパーステーションの方にスケジュール変更の要請が入った場合や、ホームヘルパーの側でアクシデントにより予定に遅延が出た場合など、双方に早急に連絡したい事項があっても、ホームヘルパーが一旦ホームヘルパーステーションを出発してしまうと、ホームヘルパーステーション側では、ホームヘルパーをタイムリーに監視するのが難しい。また、ホームヘルパーステーションは、各ホームヘルパーの勤怠／実績管理を行うために、各ホームヘルパーが帰所した後作成した介護サービス実施実績の報告書を確認した後、その都度記帳あるいはコンピュータに入力等を行なわなければならない負担が大きい。

【0010】

【発明が解決しようとする課題】本発明は上記した問題

点を解決するためになされたものであり、ホームヘルパー側及びホームヘルパーステーション側（ひいては介護サービス事業者側）からみた以下の課題を解決しようとするものである。

(1) ホームヘルパーが自宅から介護サービス利用者宅に直行直帰できるなどホームヘルパーの勤務を効率化する。

(2) ホームヘルパーがホームヘルパーステーションに立ち寄りしなくてもタイムリーに自分の訪問介護スケジュールを確認できる。

(3) ホームヘルパーによる訪問介護サービス実施実績の報告書作成の時間と作業負担を減らす。

(4) 介護サービス事業者のホームヘルパーに対する訪問スケジュール配布・指示の負担をなくすとともに、予定変更について円滑にホームヘルパーに通知できるようにする。

(5) 介護サービス事業者の各ホームヘルパーについての勤怠／実績管理をする負担を軽減する。

【0011】

【課題を解決するための手段】上記課題を解決するために、本発明による介護サービス提供業務支援システムは、ケアプラン・スケジュール作成拠点に設けられたケアプラン・スケジュール作成用コンピュータと、該ケアプラン・スケジュール作成用コンピュータと相互にスケジュールデータ及び介護実績データを含むデータの送受信可能な中継情報データベースを備えた中継情報センタと、該中継情報センタにアクセスして該中継情報データベースに蓄積されたスケジュールデータを含むデータを表示させ介護実績データを該中継情報センタに送信可能な携帯用通信機器とで構成される。このように構成することにより、ホームヘルパーは携帯用通信機器によりタイムリーに中継情報センタを介して自分の介護スケジュールを表示させることができる。また、ホームヘルパーは逐次介護実績を携帯用通信機器から中継情報センタに送信することによって、ケアプラン・スケジュール作成拠点は随時ホームヘルパーの介護実績を中継情報センタを介して監視することが出来るとともに、介護実績データを中継情報センタから受信することによりホームヘルパーの勤怠管理などに利用できる。

【0012】前記ケアプラン・スケジュール作成用コンピュータと前記中継情報センタとがインターネットを介して通信し、前記携帯用通信機器と前記中継情報センタとが携帯電話網及びインターネットを介して通信するようにすれば、現時点において最もコストパフォーマンスとフレキシビリティにすぐれた介護サービス提供業務支援システムとして提供できる。

【0013】前記中継情報センタが前記中継情報データベースに蓄積されたデータをウェブ画面で表示する表示手段を備え、ブラウザを装備したコンピュータがインターネットを介して前記中継情報データベースに蓄積され

たデータを表示させることができるようにすれば、ケアプラン・スケジュール作成拠点を含むあらゆる場所に設置されたコンピュータからインターネットを介して随時中継情報センタにアクセスして情報を表示させて監視・管理用に利用できる。

【0014】前記スケジュールデータに、担当ホームヘルパー名、日付、時刻、担当介護利用者名、介護サービスの内容を含むようにすれば、ホームヘルパーが良好な介護サービスを提供するための必要最低限の情報を得ることができる。

【0015】前記介護実績データに、少なくとも前記スケジュールデータに対応した介護利用者毎の介護開始時刻と介護終了時刻とを含むようにすれば、ホームヘルパーの実績管理に必要な最低限の情報を得ることができる。

【0016】前記中継情報データベースが、少なくともホームヘルパーマスタファイル、介護利用者マスタファイル、介護スケジュールデータファイル、介護実績データファイルを含むようにすれば、介護スケジュール管理及び介護実績データ管理を有効に実行できる。

【0017】前記ケアプラン・スケジュール作成用コンピュータが、毎日所定時刻にスケジュールデータを前記中継情報センタにアップロードし、前記中継情報センタが前記ケアプラン・スケジュール作成用コンピュータに定期的に介護実績データをダウンロードすることにより、ホームヘルパーがタイムリーに当日用のスケジュールを確認でき、ケアプラン・スケジュール作成拠点はタイムリーにホームヘルパーの勤怠管理及び介護実績管理が可能となる。

【0018】前記中継情報センタが前記ケアプラン・スケジュール作成拠点以外に設置されたコンピュータに通信回線を介して給与計算あるいは介護報酬請求用の月次介護実績情報をダウンロードするようにすれば、大規模な介護サービス提供業者で本部や支店で給与計算や市町村に対する介護報酬請求を行う場合に便宜である。

【0019】

【発明の実施の形態】以下、本発明による実施の形態を図面を参照して説明する。図1は、本発明による介護サービス提供業務支援システムの実施の形態の基本的構成を示すブロック図である。

【0020】図1に示すとおり、本発明による介護サービス提供業務支援システムは、ケアプラン・スケジュール作成拠点1に設けられたケアプラン・スケジュール作成用コンピュータ10と、ケアプラン・スケジュール作成用コンピュータ10と通信回線を介して相互にデータの送受信可能な中継情報データベース24を備えた中継情報センタ2と、中継情報センタ2と通信回線を介してデータの送受信可能なホームヘルパーが携帯する携帯用通信機器3とで構成される。また、中継情報センタ2の中継情報データベースには、他の場所に設置されたコ

ンピュータ、例えば本部4に設置された管理用サーバ41、他の支店（或いは拠点）5に設置されたコンピュータ51、ホームヘルパーの自宅6にあるコンピュータ61などから通信回線を介してアクセス可能である。

【0021】ここで、ケアプラン・スケジュール作成用コンピュータ10は、1台でもよいし複数でもよい。また、ケアプラン・スケジュール作成拠点1も一箇所とは限らず複数にわたってもよい。さらに、ホームヘルパーが携帯する携帯用通信機器3は、各ホームヘルパーがそれぞれ携帯する。

【0022】本発明による介護サービス提供業務支援システムは、基本的にはどのような通信システムを用いても実施可能である。しかしながら、図1に示すように、通信回線としてインターネット及び携帯電話網を用いて本発明による介護サービス提供業務支援システムを実施するのが本出願の時点においてはもっとも効果を発揮できると考えられる。従って、本実施の形態では、通信回線としてインターネット及び携帯電話網を用いた場合として説明する。以下、各ブロックについてより詳細に説明する。

【0023】ケアプラン・スケジュール作成拠点1は、介護サービス事業者が実際にケアプランを作成し、あるいはケアプランに従って介護利用者にホームヘルパーを派遣するための予定表を作成し所属するホームヘルパーに訪問介護実施を任命指示する拠点である。従って、大規模な介護サービス事業者であれば、地域毎にケアプラン・スケジュール作成拠点1を設けている場合もあるし、ごく小規模な介護サービス事業者であれば事業所あるいは本部自体がケアプラン・スケジュール作成拠点1である場合もある。

【0024】ケアプラン・スケジュール作成用コンピュータ10は、ケアプラン・スケジュール作成拠点1において、要介護者の希望する介護サービスのデータを入力してケアプランを作成したり、介護サービスを利用する要介護者のケアプランデータに基づいてホームヘルパーを派遣するためのスケジュール表を作成するためのコンピュータである。ケアプラン・スケジュール作成用コンピュータ10は、ケアプランやスケジュール表を作成するためのアプリケーションソフトウェアであるケアプラン・スケジュール作成プログラム11と、ケアプラン・スケジュール作成プログラム11に基づいて作成されたケアプラン・スケジュールデータファイル15と、ケアプラン・スケジュールデータファイル15から抽出したスケジュールデータなどを通信回線を介して中継情報センタ2にアップロードするために標準フォーマットに変換するためのエクスポートプログラム12と、中継情報センタ2から通信回線を介してダウンロードされる介護実績データなどをケアプラン・スケジュール作成用コンピュータ10用にフォーマット変換するインポートプログラム13とを備えている。

【0025】中継情報センタ2は、介護サービス事業者とホームヘルパーとを結びつけるための情報中継サービスを行う機能を担っている。中継情報センタ2は、この情報中継サービスを行うためのデータベースを構築するデータベースサーバ20を備え、データベースサーバ20は、中継情報データベース24と、ケアプラン・スケジュール作成拠点1からアップロードされるデータをデータベースとして蓄積するためにフォーマット変換するアップロードプログラム22と、中継情報センタ2からケアプラン・スケジュール作成用コンピュータ10にダウンロードするために中継情報データベース24に蓄積されたデータから必要データを抽出してフォーマット変換するダウンロードプログラム23と、中継情報データベース24を統合管理する情報管理プログラム21とを備えている。

【0026】また、中継情報センタ2は、ウェブサーバ25にヘルパー用表示処理プログラム26と、ヘルパーステーション表示処理プログラム27と、受信データ変換プログラム28とを備えている。ヘルパー用表示処理プログラム26は、ホームヘルパーが携帯用通信機器3を用いて中継情報センタ2にアクセスして情報を入力しようとしたときに、中継情報データベース24に蓄積されているデータを携帯用通信機器3の表示装置に表示させるためのデータの抽出及びデータ変換処理（例えばc-HTML形式やWAP形式に）を行うプログラムである。ヘルパーステーション用表示処理プログラム27は、ホームヘルパーステーションやホームヘルパーの自宅、介護サービス事業者の本部など様々なところに設置されているパーソナルコンピュータから中継情報センタ2にアクセスして情報を入力しようとしたときに、中継情報データベース24に蓄積されているデータをパーソナルコンピュータの表示装置に表示させるためのデータの抽出及びデータ変換処理（例えば、HTML形式に）を行うプログラムである。受信データ変換プログラム28は、ホームヘルパーが携帯する携帯用通信機器3から中継情報センタ2に送信される介護実績データを中継情報データベース24の介護実績ファイル244（図2参照）に蓄積するためにフォーマット変換を行うためのプログラムである。

【0027】なお、ここで、図1中、ウェブサーバ25とデータベースサーバ20とは異なるブロックとして表示されているが、ここでいうサーバはネットワーク上のノードであって、実際には一台のコンピュータで実現できることもあるし、複数台のコンピュータで構成することもできる。

【0028】携帯用通信機器3は、介護サービスを実施するホームヘルパーが携帯するもので、例えば携帯電話機や携帯情報端末を携帯用通信機器3として用いることができる。本実施の形態では、携帯用通信機器3として携帯電話機を使用しており、携帯用通信機器3は携帯電

話網及びインターネットを介して中継情報センタ2にアクセスすることができる。携帯用通信機器3は、中継情報データベース24にアップロードされたスケジュールデータ等を画面表示するための表示部31及び介護実績を入力して中継情報センタ2に送信するなどの操作を行うためのキーあるいはボタン32を備えている。携帯用通信機器3から中継情報センタ2に送信される介護実績データは、受信データ変換プログラム28を介して中継情報データベース24に蓄積されるが、この受信データ変換プログラム28に音声データ変換プログラムを組み込めば、ホームヘルパーはキーあるいはボタン操作によらずに音声で介護実績データを中継情報センタ2に送信可能になる。

【0029】なお、介護スケジュールの表示あるいは実績入力のほか、携帯用通信機器3はインターネットを通信回線として利用するので、ホームヘルパーステーションなどと電子メールで緊急伝達事項などをやりとりできる利点もある。電子メールはメールサーバを中継情報センタ2に備えることにより行うこともできるが、特に中継情報センタに電子メールのためのインフラを設けないで、他のインフラを利用してメールをやりとりすることも可能である。

【0030】次に図2および図3を用いて、本発明による介護サービス提供業務支援システムにおいて、中継情報センタ2を介して中継される情報の詳細について説明する。図2は、ケアプラン・スケジュール作成拠点1から中継情報センタ2にアップロードされるファイルに含まれる情報の概要及び中継情報センタ2からケアプラン・スケジュール作成拠点1にダウンロードされるファイルに含まれる情報の一例について示した図である。また、図3は、携帯用通信機器3の表示画面の一例を示した図である。

【0031】ケアプラン・スケジュール作成拠点1では、ケアプラン・スケジュール作成プログラム11と登録されているホームヘルパー情報に基づいて、ケアプラン・スケジュールデータファイル11が作成されるが（図1参照）、そのケアプラン・スケジュールデータファイル11から毎日所定の時刻（例えば前日の業務終了時点、あるいは当日の始業開始一番に）に当日、翌日、翌々日の三日分の介護サービススケジュールを抽出してエクスポートプログラム12でフォーマット変換を行った上で中継情報センタ2にアップロードする。

【0032】図2においてF1はそのアップロードファイルの内容を示している。当日予定情報として、まずケアプラン・スケジュール作成拠点1に所属するホームヘルパーH1～ホームヘルパーHmまでの介護サービスを提供するm人の各ホームヘルパーについてのヘルパー情報F11～F1mがアップロードされる。さらに、ホームヘルパーH1～Hmまでのそれぞれホームヘルパーに対する介護予定情報F121～F12mが含まれる。例

えばホームヘルパーH1の介護予定情報F121には、当日介護サービスを提供する介護予定情報1～nが含まれており、それぞれの介護予定情報には日付、時刻、介護利用者名、提供する介護サービスの内容、介護利用者個別の詳細情報（例えば、住所、電話番号、緊急連絡先、提供する介護サービスの内容、注意事項、主治医、持病など）を含む利用者情報が含まれる。翌日予定情報、翌々日予定情報についても同様である。なお、本実施の形態においては、当日を含めて三日分の介護サービススケジュールデータを抽出して中継情報センタ2にアップロードしているが、何日分をアップロードするかは任意であって本発明では三日分には限定されない。

【0033】アップロードファイルF1は中継情報センタ2にアップロードされ、アップロードプログラム22（図1参照）を経て、ヘルパー情報F11～F1mは、中継情報データベース24のヘルパーマスタ241に蓄積される。また、同様に、利用者情報は利用者マスタ242に蓄積される。また、介護予定情報1～nは、ヘルパーマスタ241や利用者マスタ242とリンクした形で介護予定ファイル243に蓄積される。なお、ファイルF1をアップロードする時点で各ホームヘルパーにケアプラン・スケジュール作成拠点1より連絡事項があれば、連絡情報も同時にアップロードし、連絡情報は中継情報データベースの連絡情報ファイル245に蓄積される。

【0034】次に、このようにアップロードされたファイルF1が、携帯用通信機器3の表示画面31にヘルパー用表示処理プログラム26を介して（図1参照）にどのように反映されるかを図3を用いて説明する。

【0035】図3において、画面A1はスタート画面であり、①介護予定と②ヘルパー連絡との2つのメニューが用意されている。ホームヘルパーは①介護予定のメニューを選択することにより、当日、翌日、翌々日の介護スケジュールを確認できる。①介護予定のメニューを選択すると、画面A2が表示され、まず当日の介護スケジュールが表示される。ケアプラン・スケジュール作成拠点1から中継情報センタ2にアップロードされた介護予定情報F121～F12mはこのように表示画面に反映される。さらに、画面A2において、翌日のメニューを選択すると画面A3が表示され、さらに翌々日のメニューを選択すると画面A4が表示され、翌日及び翌々日のスケジュールを確認することができる。

【0036】画面A2には、時間と当該時間に介護サービスを提供する介護利用者名が時間順に表示されており、介護利用者10:00新井XX雄のメニューを選択すると、画面A5が表示され、介護サービスを提供する時間帯と介護サービスの内容を確認できる。なお、画面A5中の利用情報表示のメニューを選択すると、画面A6において新井XX雄の詳細な情報が表示される。ケアプラン・スケジュール作成拠点1から中継情報センタ2

にアップロードされた利用者情報はこのように表示画面に反映される。なお、スタート画面A1において、②ヘルパー連絡のメニューを選択すると、当該ホームヘルパー宛の連絡事項を確認できる。

【0037】次に、図3を用いて、ホームヘルパーの介護サービス実施実績の入力について説明する。画面A5において、訪問実績入力メニューを選択すると、訪問実績を入力するための画面A7が表示される。ホームヘルパーは、スケジュールに従って介護利用者を訪問すると、画面A7の訪問開始報告のメニューを選択し、画面A8が表示されると開始時刻を入力し、例えば確定ボタンを押下するとそのデータは中継情報センタ2に送信される。現在時刻を送信すればよいときは、例えば*ボタンを押下することにより直ちに現在時刻を開始時刻としてセットできるようにする。当該介護利用者の訪問介護が終了すると、画面A7の訪問完了報告のメニューを選択し、完了時間を入力する。現在時刻を入力すればよいときは、同様に例えば*ボタンを押下することにより直ちに現在時刻を完了時刻としてセットできるようにする。さらに、交通費を入力する。なお、画面A7の訪問実績入力メニューは、送信データの修正や開始時刻と訪問時刻の入力が現在時刻でない場合等に使用する。訪問実績入力の例は、画面A12、画面13、画面14及び画面15に示される。

【0038】このようにして、ホームヘルパーから中継情報センタ2に送信された介護実績は、図1に示す受信データ変換プログラム28を介して中継情報データベース24の介護実績ファイル244に蓄積される。一方、図1に示される本部4や支店5などは、それぞれのコンピュータ41、51からブラウザを介して中継情報データベース24に蓄積される介護実績データを照会することができるので、タイムリーにホームヘルパーの勤務管理を行うことができる。また、中継情報データベース24の介護実績ファイル244に蓄積された介護実績データの当日データは例えば夜間作業等によりダウンロードプログラム23を介して抽出されフォーマット変換され、夜間あるいは翌日朝一番で、ダウンロードファイルF2として、ケアプラン・スケジュール作成拠点1のケアプラン・スケジュールデータファイル15にインポートプログラム13を介してダウンロードされる。

【0039】なお、ケアプラン・スケジュール作成拠点1はこのように日次でホームヘルパーの介護実績情報を入手できるほか、例えば、ホームヘルパーの給与計算や市町村に対する介護報酬請求のために、月次で介護実績情報をダウンロードすることもできる。大規模な介護サービス提供事業者であって、給与計算や介護報酬請求などを本部あるいは支店毎に行う場合は、本部あるいは支店に対し月次介護実績情報をダウンロードすればよい。

【0040】以上説明した実施の形態は、ホームヘルパーの派遣について本発明を実施した場合であるが、本発

明はホームヘルプサービスだけでなく、訪問入浴介護、訪問看護、訪問リハビリテーションなどの派遣サービスについても実施可能である。また、図2及び図3に示したファイルの形式内容や画面の表示はあくまで一例であり、様々の形式内容や表示を実施し得るものであるから、図示した例が本発明を限定するものではない。

【0041】

【発明の効果】本発明による介護サービス提供業務支援システムによれば、以下のような効果を奏する。ホームヘルパー側と介護サービス提供事業者側に分けて述べ

【ホームヘルパー側】

(1) 自宅から介護サービス利用者宅に直行し、介護サービス終了後もホームヘルパーステーションへの帰所頻度を削減するなど、ホームヘルパーの勤務の効率化が図れる。

(2) ホームヘルパーステーションに立ち寄らなくとも、タイムリーに自分の訪問介護スケジュールを確認できる。

(3) 介護サービス実施実績の報告書作成のための時間や作業負担を削減できる。

(4) 急なスケジュールの変更などの連絡がスムーズに行える。

【介護サービス提供事業者側】

(1) 従来手作業で行われていたホームヘルパーへの訪問介護スケジュールの配布や電話連絡の作業負担が削減できる。

(2) タイムリーにホームヘルパーの勤怠管理ができる。

(3) 介護利用者の訪問スケジュールの変更に対する対応が容易になり、介護利用者に提供するサービスの向上につながる。

(4) 従来行っていた介護実施実績報告書（ホームヘルパー作成）の確認、記帳あるいはコンピュータへの入力作業を削減できる。

(5) 介護報酬請求や給与計算のための月次勤務実績や訪問介護実績を電子データで受け取ることができ、事務処理負担が軽減できると共に、関連団体への情報提供も電子データ化できるので、処理の迅速化・省力化が期待できる。

(6) 全体として、介護サービス提供事業者の管理事務業務の効率化とコスト削減を達成できる。特に、自前で情報システムインフラなどを構築するのが困難な小規模事業者であっても、このようなシステムを利用することによって、事務の効率が図れ、本業である介護サービスの向上に事業の資源を集中できる。また、中継情報センタとのデータのアップロード・ダウンロードを行うためのフォーマット変換プログラムを提供すれば、どのようなケアプラン・スケジュール作成アプリケーションプログラムを使用している業者であっても、本発明による介護サービス提供業務支援システムを利用可能になる。

【図面の簡単な説明】

【図1】本発明による介護サービス提供業務支援システムの構成を示すブロック図である。

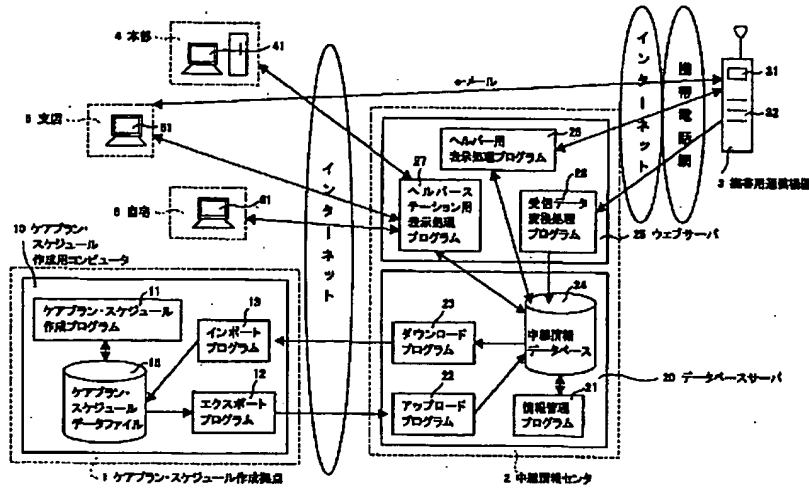
【図2】本発明による介護サービス提供業務支援システムにおいて中継されるファイルの内容の一例を示した図である。

【図3】本発明による介護サービス提供業務支援システムにおいて用いる携帯用通信機器の表示画面の一例を示した図である。

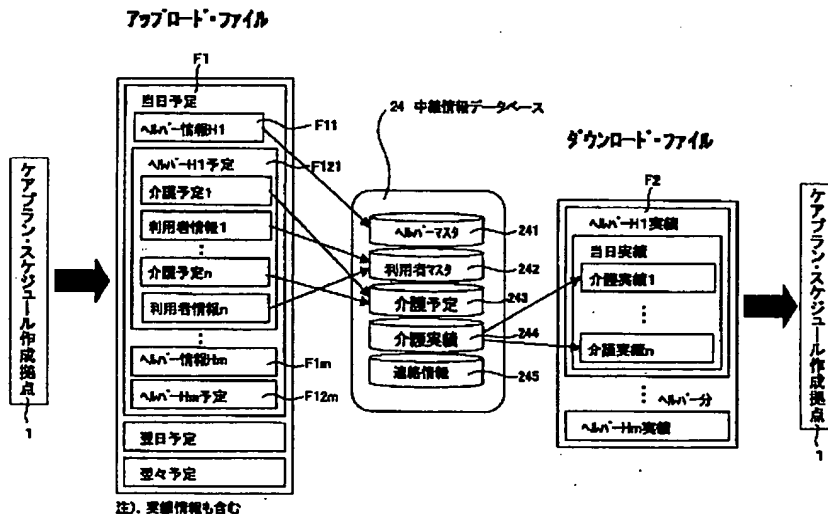
【符号の説明】

- 1 ケアプラン・スケジュール作成拠点
- 2 中継情報センタ
- 3 携帯用通信機器
- 4 本部
- 5 支店
- 6 自宅
- 10 ケアプラン・スケジュール作成用コンピュータ
- 24 中継情報データベース

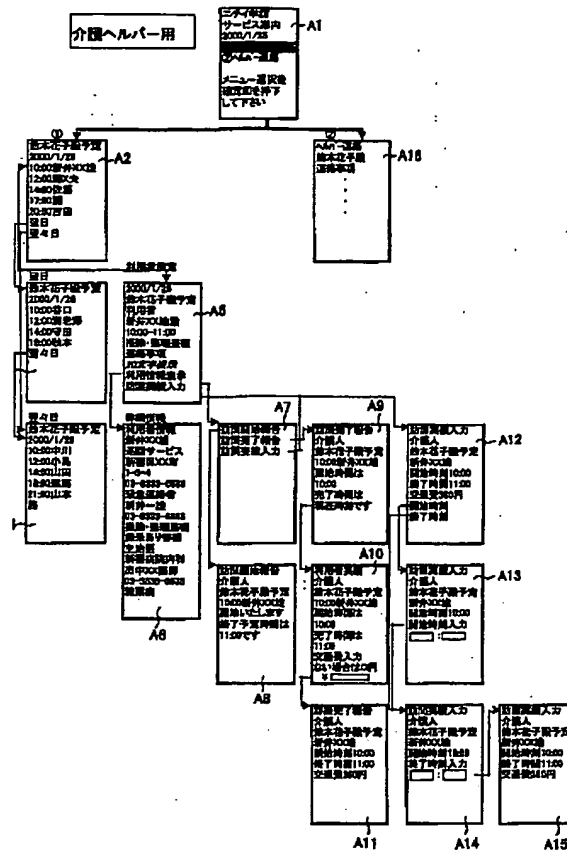
【図1】



【図2】



【図3】



【手続補正書】

【提出日】平成12年9月7日(2000.9.7)

【手続補正1】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】特許請求の範囲

【補正方法】変更

【補正内容】

【特許請求の範囲】

【請求項1】 ケアプラン・スケジュール作成拠点に設けられたケアプラン・スケジュール作成用コンピュータと、該ケアプラン・スケジュール作成用コンピュータと相互にスケジュールデータ及び介護実績データを含むデータの送受信可能な中継情報データベースを備えた中継情報センタと、該中継情報センタにアクセスして該中継情報データベースに蓄積されたスケジュールデータを含むデータを表示させ介護実績データを該中継情報センタに送信可能な携帯用通信機器とで構成する、介護サービス提供業務支援システム。

【請求項2】 前記ケアプラン・スケジュール作成用コ

ンピュータと前記中継情報センタとはインターネットを介して通信し、前記携帯用通信機器と前記中継情報センタとは携帯電話網及びインターネットを介して通信する、請求項1に記載の介護サービス提供業務支援システム。

【請求項3】 前記中継情報センタは前記中継情報データベースに蓄積されたデータをウェブ画面で表示する表示手段を備え、ブラウザを装備したコンピュータがインターネットを介して前記中継情報データベースに蓄積されたデータを表示させることができる、請求項2に記載の介護サービス提供業務支援システム。

【請求項4】 前記スケジュールデータは、担当ホームヘルパー名と日付と時刻と担当介護利用者名と介護サービスの内容とを含む、請求項1に記載の介護サービス提供業務支援システム。

【請求項5】 前記介護実績データは、少なくとも前記スケジュールデータに対応した介護利用者毎の介護開始時刻と介護終了時刻とを含む、請求項1に記載の介護サ

ービス提供業務支援システム。

【請求項6】 前記中継情報データベースは、少なくともホームヘルパーマスタファイルと、介護利用者マスタファイルと介護スケジュールデータファイルと介護実績データファイルとを含む、請求項1に記載の介護サービス提供業務支援システム。

【請求項7】 前記ケアプラン・スケジュール作成用コンピュータは、毎日所定時刻にスケジュールデータを前記中継情報センタにアップロードし、前記中継情報センタは前記ケアプラン・スケジュール作成用コンピュータに定期的に介護実績データをダウンロードする、請求項1に記載の介護サービス提供業務支援システム。

【請求項8】 前記中継情報センタは前記ケアプラン・スケジュール作成拠点以外に設置されたコンピュータに通信回線を介して給与計算あるいは介護報酬請求用の月次介護実績情報をダウンロードする、請求項1に記載の介護サービス提供業務支援システム。

【請求項9】 ケアプラン・スケジュール作成拠点からスケジュールデータを受信し、携帯用通信機器から介護実績データを受信し、該受信したスケジュールデータ及び介護実績データを該携帯用通信機器あるいはコンピュータを用いて表示させることができる表示手段を備えた中継情報センタ。

【手続補正書】

【提出日】平成13年3月16日(2001.3.16)

【手続補正1】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】特許請求の範囲

【補正方法】変更

【補正内容】

【特許請求の範囲】

【請求項1】 ケアプラン・スケジュール作成拠点に設けられインターネットで通信可能な通信手段を備えたケアプラン・スケジュール作成用コンピュータと、インターネット及び携帯電話網を介して通信可能な通信手段を備えヘルパーが介護実績を入力するための携帯電話機と、インターネットを介して通信可能な通信手段と、該ケアプラン・スケジュール作成用コンピュータから送信されるスケジュールデータを受信する受信手段と、該携帯電話機から送信される介護実績データを受信する受信手段と、該受信したスケジュールデータ及び介護実績データを蓄積する中継情報データベースと、該中継情報データベースに蓄積されたデータを該携帯電話機あるいはコンピュータを用いて表示させるための表示処理手段と、該中継情報データベースに蓄積された介護実績データをインターネットを介して該ケアプラン・スケジュール作成用コンピュータに送信する送信手段と、を備えた中継情報センタと、で構成される介護サービス提供業務支援システム。

【請求項2】 前記スケジュールデータは、担当ホームヘルパー名と日付と時刻と担当介護利用者名と介護サービスの内容とを含む、請求項1に記載の介護サービス提供業務支援システム。

【請求項3】 前記介護実績データは、少なくとも前記スケジュールデータに対応した介護利用者毎の介護開始時刻と介護終了時刻とを含む、請求項1に記載の介護サ

ービス提供業務支援システム。

【請求項4】 前記中継情報データベースは、少なくともホームヘルパーマスタファイルと、介護利用者マスタファイルと介護スケジュールデータファイルと介護実績データファイルとを含む、請求項1に記載の介護サービス提供業務支援システム。

【請求項5】 前記ケアプラン・スケジュール作成用コンピュータは、毎日所定時刻にスケジュールデータを前記中継情報センタにアップロードし、前記中継情報センタは前記ケアプラン・スケジュール作成用コンピュータに定期的に介護実績データをダウンロードする、請求項1に記載の介護サービス提供業務支援システム。

【請求項6】 前記中継情報センタは前記ケアプラン・スケジュール作成拠点以外に設置されたコンピュータに通信回線を介して給与計算あるいは介護報酬請求用の月次介護実績情報をダウンロードする、請求項1に記載の介護サービス提供業務支援システム。

【請求項7】 ケアプラン・スケジュール作成拠点に設けられたケアプラン・スケジュール作成用コンピュータから該ケアプラン・スケジュール作成用コンピュータで作成されたスケジュールデータをインターネットを介して受信する受信手段と、ヘルパーが携帯する携帯電話機から入力された介護実績データを携帯電話網及びインターネットを介して受信する受信手段と、該受信したスケジュールデータ及び介護実績データを蓄積する中継情報データベースと、該中継情報データベースに蓄積されたデータを該携帯電話機あるいはコンピュータを用いて表示させるための表示処理手段と、該中継情報データベースに蓄積された介護実績データをインターネットを介して該ケアプラン・スケジュール作成用コンピュータに送信する送信手段と、を備え、該ケアプラン・スケジュール作成拠点と該携帯電話機との間のデータの表示及びデータの送受信を中継する、介護サービス提供業務支援システム。

**This Page is Inserted by IFW Indexing and Scanning
Operations and is not part of the Official Record**

BEST AVAILABLE IMAGES

Defective images within this document are accurate representations of the original documents submitted by the applicant.

Defects in the images include but are not limited to the items checked:

- ☐ **BLACK BORDERS**
- ☐ **IMAGE CUT OFF AT TOP, BOTTOM OR SIDES**
- ☒ **FADED TEXT OR DRAWING**
- ☐ **BLURRED OR ILLEGIBLE TEXT OR DRAWING**
- ☐ **SKEWED/SLANTED IMAGES**
- ☒ **COLOR OR BLACK AND WHITE PHOTOGRAPHS**
- ☐ **GRAY SCALE DOCUMENTS**
- ☐ **LINES OR MARKS ON ORIGINAL DOCUMENT**
- ☐ **REFERENCE(S) OR EXHIBIT(S) SUBMITTED ARE POOR QUALITY**
- ☐ **OTHER:** _____

IMAGES ARE BEST AVAILABLE COPY.

As rescanning these documents will not correct the image problems checked, please do not report these problems to the IFW Image Problem Mailbox.